

人口総数	87,774	世帯数	32,053
男	41,175		
女	46,599	面積	17.31km ²

発行

芦屋市役所（公聴広報課）
 ☎0797-31-2121
 〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号
 毎月1日・15日発行

1989年(平成元年)

10月15日号

No. 553

広報あしや

新芦屋50景 フォトコンテスト

市制50周年記念

「芦屋の四季」

秋・冬季の部

来秋の市制施行五十周年を記念し、「芦屋の四季」を題材に、「新芦屋50景」フォトコンテストを実施します。今回の募集は、「秋・冬季の部」で、ありきたりの観光写真でない生活感にあふれた作品を期待しています。

市と芦屋観光協会、芦屋姉妹都市協会などで構成する「新芦屋50景」フォトコンテスト実施委員会（城純一会長）では、市制五十周年にちなみ写真による「新芦屋50景」を選ぶことになっています。作品は、人・建築物・モノ・自然・情景等を題材に「芦屋の四季」を表現する写真で、「秋・冬季の部」（十月～来年二月撮影）「春・夏季の部」（三月～八月撮影）に分けて各二十五点選考します。「秋・冬季の部」は、来年三月十五日（木）までにカラー、キャビネサ



イズで、作品の題名・住所・氏名・年齢・電話番号・撮影背景・撮影年月日・撮影場所を書いた応募票を裏面に貼り、送付してください。

入賞発表は、四月下旬で、各賞は、春・夏季の部を併せて十月下旬に行います。市長賞（一点、賞金十万円）、市教育委員会賞、市議会議長賞、芦屋観光協会会長賞、芦屋姉妹都市協会会長賞（各一点、各三万円）、入賞四十五点、各五千元）。

秋のわがまち クリーン作戦

9月27日に実施

市と市三団体協議会では、環境衛生週間にあたる九月二十七日に、秋の「わがまちクリーン作戦」を行いました。約三百人の市民が参加し、午前中の清掃で約千五百八十キ

口の空き缶や紙くずを回収しました。今年で六年目を数えるわがまちクリーン作戦は、次第に地域活動として広がりをみせ、今回は自治組織連合会の五地区が自主的な運営のもと清掃活動を行いました。



山手町で

10月30日から地区懇談会

快適なまちづくりのために

市内の団体である広報委員会（委員長・井上隆夫氏）は、十月三十日から十一月六日まで市内五会場（左表）で、市民の皆さんのご意見を直接行政に届ける地区懇談会を開催します。今年のテーマは、「他人に迷惑をかけるに快適なまちづくりのために」です。

【役員】会長 和田邦平（兵庫県歴史博物館館長）
 副会長 川村行弘（大阪経済法科大学教授）
 委員 有坂隆道（関西大学教授）、多淵敏樹（神戸大学教授）、俵正市（弁護士・財団法人俵美術館理事長）（敬称略）

詳しくは、市教育委員会社会教育文化課文化財係（☎2121内線322）へ。

文化財保護審議会の開催

会長に和田邦平氏が就任

本年四月制定の芦屋市文化財保護条例に基づき、八月に文化財保護審議会が開かれ、役員が決まりました。今後は、教育委員会の諮問に応じ、市指定文化財などの調査

第五回定例市議会の報告

議長に杉本茂氏を選出



議長 杉本茂氏

された「大阪湾岸道路の環境保全対策を求める決議」が満場一致で可決されました。

なお、最終日の九月二十八日、鈴木議長が一身の理由で辞職したため、後任議長を選挙した結果、杉本茂議員が選出されました。

主な審議結果は次のとおりです。

【可決された議案】▽公文書公開条例の制定について 市民の公文書の公

【採択された請願】▽母子福祉センター設置につ



市教育委員 小西金積氏

【主な一般質問】▽土地開発指導要綱▽交通安全対策▽駐輪場の管理▽痴ほう性老人の早期発見▽ポイ捨て空きカン対策▽フロンガスなどの対策▽大阪湾岸道路問題▽無公害車の実用化▽特別養護老人ホーム▽残虐ビデオ対策▽清掃工場の拡張▽痴漢防止策▽災害対策▽市民スポーツ振興▽高校教育問題▽同和行政の是正▽住宅地区改良事業費の執行▽差別事象の経緯▽パートタイマー

地区懇談会日程

日程	会場	校 区
10月30日(月)	芦屋浜住宅管理センター	潮見 小 小
10月31日(火)	保健センター	精道 小
11月1日(水)	岩園幼稚園	岩園 小 朝日ヶ丘 小
11月2日(木)	山手幼稚園	山手 小 三条 小
11月6日(月)	宮川幼稚園	宮川 小 打出 小

◎時間は、いずれも午後1時30分～3時30分



市長随想 健康である記

26

秋たけなわ、着（あお）い空を眺めていると、思いきり飛びはねてみたくなったり、夜長に本を読みふけったりするものです。秋という季節は、文学少女やスポーツマンを生み出す魔力を持っているらしい。十月十日は「体育の日」です。国民こそってスポーツに親しみ、健康な心身を培う日と定められたのは、昭和四十一年のことです。東京オリンピックの大成を記念し、二年後に制定されたもので、さて、四十二回の歴史

ふだんは忘れていたように、病床につくまで健康であることのありがたさや喜びは分りにくいものです。世界一の長寿国となり、世界中から羨（せん）望される日本人の生活は、経済力の支えによるものでしょうが、その経済力をしても解決できないのが私たちの健康問題です。調査によりますと、老後の最大の不安は健康と なっています。年齢とともに、生理機能が衰えるのはどうすることもできませんが、適度の運動で健康を維持し増進する各 自の努力が非常に大切な ことです。

さる九月十五日から六

を持つ本市の市民体育祭は、二十種目に及ぶ催しです。体育祭などと、いかめしい名称が付くと、どうも自信がなくて、という声が増えてきました。私も、ラグビーやサッカーのようなハードなものから、体力や年齢に応じて、気軽に参加できる親子マラソンやゲートボールなど、種目はいろいろあります。見るのも楽しいスポーツですが、汗をかいた運動の後の疲労感は、爽（そう）う）快なものですね。健康な人には、健康のありがたさが分からないようです。水や空気が生きるために欠かせないことは、知識として持ちながらも、

日間、身体障害者のスポーツ祭典、フェスティック神戸大会が開催されました。車いすマラソン大会の折り返し点が国道二号の本市前田町交差点でありました。沿道には、地元をはじめ大勢の市民の皆さんから盛大な声援をいただきました。

主催者の神戸市から丁寧なお礼のごあいさつを受けましたが、大きなハッパを克服して懸命に疾走する選手の姿は、本当に感動的でした。そして勇気を与えてくれました。ところで、私は、時折一時間ほどの散歩で健康づくりと見て歩きの実践に努めています。（芦屋市長 山村康六）

生涯学習のまち「芦屋」

—『芦屋市生涯学習推進懇話会』からの提言—

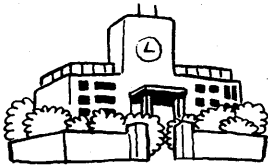
市は、今年の三月、幅広い市民のかたがたから生涯学習についての意見やアイデアなどを聞く会として「芦屋市生涯学習推進懇話会」(座長・山田安氏)を設置しました。このたび、その懇話会から、「芦屋にふさわしい生涯学習の方向」として、市長に提言されましたので、その概要を紹介いたします。

今、なぜ生涯学習？

織田信長は、合戦の前「人生わずか五十年、転戦のうちにくれば、夢まぼろしの如くなり」と語り、舞ったと言われています。当時から戦前までの長い間、日本では人生わずか五十年と言われてきました。この時代の平均寿命は四十五歳程度でした。しかし現在日本人の平均寿命は七十歳をはるかに越え、世界のトップ水準にあります。人生八十年を健やかに生き抜いていくことの難しさは、まさに人跡未踏の高山に登る難しさに匹敵します。

高齢化社会を迎えて、個人として、また地域社会の一員として、いきいきと充実して、明るく楽しく生活していくためには、何に生きがいを求めたらよいのでしょうか。私たちは、生涯にわたる学習で、それを自ら見いださなければならぬのです。

これが、生涯学習の最も重要な課題といえるのではないのでしょうか。



「生涯学習オアシス 都市」宣言の提唱

提言の中で、市民の特性を生かした生涯学習の方向として、次の四項目を提案しています。

- ①文化都市芦屋が、新しい知識、文化、生き方を取り入れるような学習環境をつくること
- ②様々な市民の豊富な知恵と経験を生かした相互の交流や学習活動などを活発化すること
- ③国際文化住宅都市の市民として、外国人との交流を通じて、国際理解を深めること
- ④アジア圏の人々との交流を積極的に進めること

そして、この交流を通じて得られた教育、文化、スポーツなどの情報を、市民が手軽に利用できるようにすること

この考え方に立って、芦屋が成熟した文化都市のモデルとして「生涯学習オアシス都市」宣言をし、地域住民がお互いに学習を通じて、文化の高い教養豊かなまちづくりを進められることが期待されています。



レクリエーション実技講座(公民館)

高齢化はすべての人の問題

本市の現在の高齢化率(市人口に占める六十五歳以上の割合)は約一七・七パーセントであり、十年後には約二六・七パーセントと予測され、今後急速に高齢化が進むこととなります。このことは未経験なことであり、高齢者だけにとどまらず、すべての人が問題解決に当たらなければならぬ大きな課題となります。

具体的施策として、

- ・巡回高齢者スポーツ相談日や「スポーツ教室」の開設
- ・気軽に利用できる運動広場の整備
- ・カウンセリング・テレホンサービス
- ・(仮称)高齢者生涯学習センターの設置

学習の場として、小学

校の空き教室の整備
指導者登録派遣システムの導入
などが示されています。

国際化への道

国際性を豊かにするためには、まず日本の文化に対する理解を深めるとともに、他国の人々や異文化を理解できるようにすることが必要です。

そして同時に、人間尊重の精神に基づいて、異なる立場、背景、生き方などを尊重し、共に生きて行く地域社会づくりをめざすことも大切な学習です。

- ・公立高校への留学生の受け入れ
- ・広報紙、公共施設名、道路標識などの英文化
- ・帰国子女の体験を地域社会で生かせる場の提供
- ・(仮称)国際文化交流友好協会(アジア圏を中心とする)の設置
- ・衛星中継による外国との市民会話集会の開催(芦屋インターナショナル・コミュニケーション・サロンの開設)

などが示されています。

ニューメディアの活用

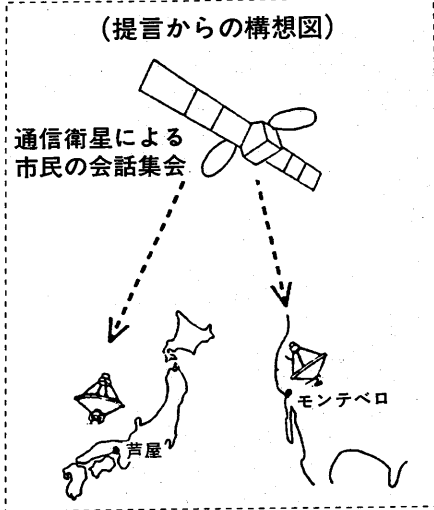
本市の生涯学習状況調査によれば、市民のコンピュータやワープロに関する学習意欲は高く、高度情報化に対応しなければならぬという姿勢が現れています。

このことは、これからの市民のコミュニケーションの方法が変わろうとしていることであり、また、日常生活の新しい文化環境が生まれようとしていることでもあります。

具体的な施策として、

- ・生涯学習関係機関のネットワーク化
- ・CATV開局に伴う、生涯学習情報提供システムの整備

などが示されています。



学びのオアシスづくり

このページは市教育委員会総務課(☎2121内線501)で編集しています。

新しい生命の誕生から人生の終焉の地にふさわしい、潤いのある地域社会をつくるためには、生涯学習を通じて人々の自立とむすびつきが必要で、そのための、コミュニ



山田 安氏

市民一人ひとりの「生涯学習」の推進を

この提言につきましても、当面の大きな課題として、高齢化、国際化、情報化に焦点を当てました。

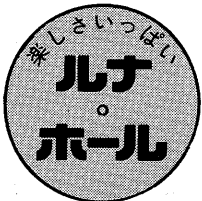
高齢化問題一つとっても、たくさん問題を抱えています。そのうち、これはだれ一人避けては通れないことなのです。懇話会の中で、これは高齢者だけでなく、各年代層で考えなければならぬことだと痛感いたしました。「高齢者介護やボランティア活動はどうなっているのか?」「高齢者のかたがたの学習意欲は満たされていますか?」など議論が白熱しました。「生涯学習」というテーマについて、すべてを網羅するにはまだまだ時間がかかります。

生涯学習の推進は、いま始まったばかりです。この機会に、生涯学習を市民一人ひとりの問題としてとらえていただき、行政とともに、この提言を生かしていただければ幸いです。

(「芦屋市生涯学習推進懇話会」座長)

「やめよういじめ つなごう友情」

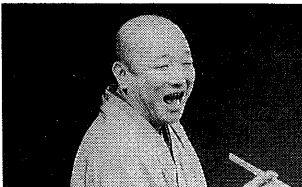
山手小学校六年 宝田さやかさん
(「差別をなくそう県民運動」の募集作品)



お問い合わせ
ルナ・ホール協会
業平町8-24
(☎31-4962)

桂枝雀独演会

- 司 雀 米 雀 雀
桂 枝 小 枝 枝
桂 枝 桂 枝 桂
首 池 確 床 目
る 茶 の 目
る 茶 の 目
る 茶 の 目
る 茶 の 目



11 / 24(金)
PM.6:30開演(開場は30分前)
入場料 前¥2,400 当¥2,600
(前売券売切の場合は当日券は販売いたしません)

70歳以上の市民30人を無料招待
申し込みは、往復はがき(必ず「桂枝雀独演会」と住所・氏名・電話番号を記入)で、ルナ・ホール協会へ。11月10日消印まで有効。

この「広報あしや」を公演当日ご持参のうえご来場ください。前売券扱いとします。ご利用ください。